

企業価値を高めていく経営へ

投資家・社外取締役からの意見と当社取組みへの反映

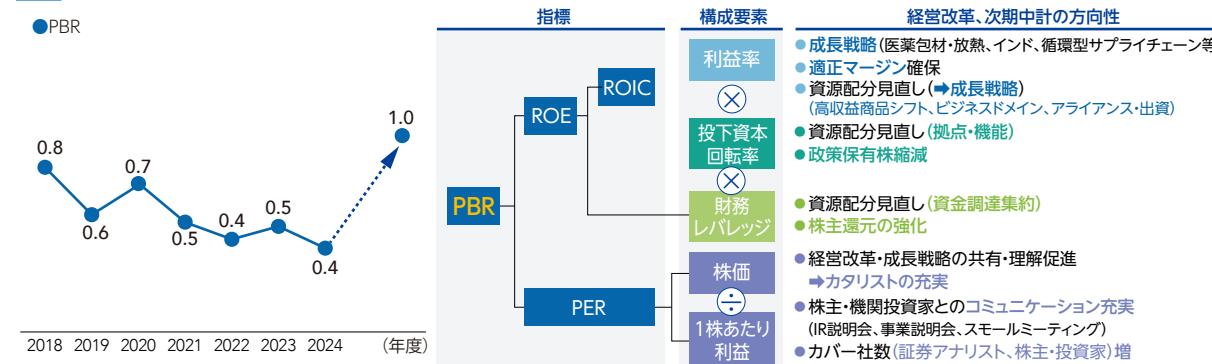
当社では、株主・投資家の皆様との対話を前向きに行うことでの関心・理解を深め、財務・非財務双方で企業価値向上に資するため、2022年度よりIR強化に向けた取組みを行っています。

2024年度は中期経営計画「23中計」戦略の進捗と財務目標の達成確度とともに、2024年5月に公表した「経営改革の推進」の進捗や資本効率向上の目指す方向などに着目をいただき、IR説明会をはじめとする直接対話・コミュニケーションの機会等により当社への関心や意見・要望を寄せいただきました。これらにつきましては、経営改革の取組みや次期中計の検討・策定をしていく中で、資本効率向上を含む当社の企業価値向上に反映していくことになります。

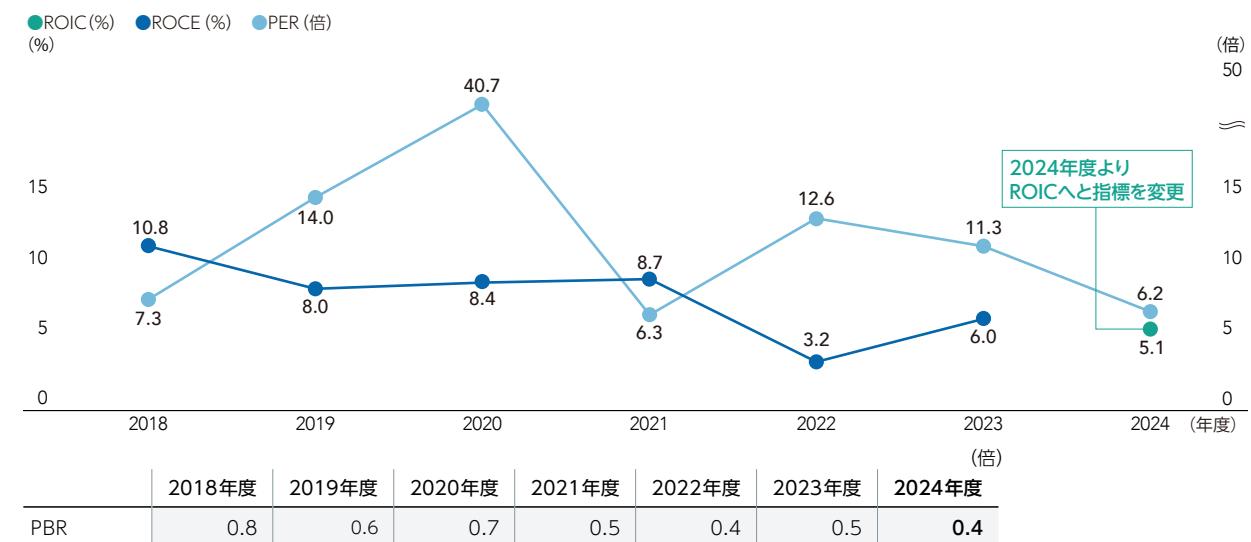
投資家からの着目点(意見・要望・ニーズ)	
<ul style="list-style-type: none"> 外部環境の変化に対する耐性が高い収益基盤 目標利益300億円・100円配当達成への意志 経営改革のスピード感 課題の事業・収益性の低い事業をどう改善させるのか 事業グループ毎の資本効率・成長性の提示 カーボンニュートラル(当社が伸ばしていく分野・商品) 株主還元方針の妥当性 株価低位(カタリスト不足) 	
社外取締役からの意見・要望・ニーズ	
<ul style="list-style-type: none"> 企業価値向上に向けた大きな戦略・方向性を取締役会で議論 当社がどのような改革を行い、当社の成長にどのように寄与していくのか、分かりやすく示してほしい 配当以外の株主還元の実施検討 	

当社取組みへの反映	
<ul style="list-style-type: none"> 外部環境リスクへの対応と共有(販売価格改定・サーチャージ導入) 事業グループ体制に基づく成長戦略・資源配分策定に順次着手 資本効率(当社・事業グループ毎)の指標をROICとし、経常利益・DEレシオと共に次期中計期間での方向性を提示 循環型サプライチェーンの構築(脱炭素という新しい価値の提供) 株主還元強化に向けた検討 	
<ul style="list-style-type: none"> 経営改革・成長戦略の共有・理解促進 株主・機関投資家、証券アナリストとのコミュニケーション充実、当社へのカバー社数を増やすための取組み 	

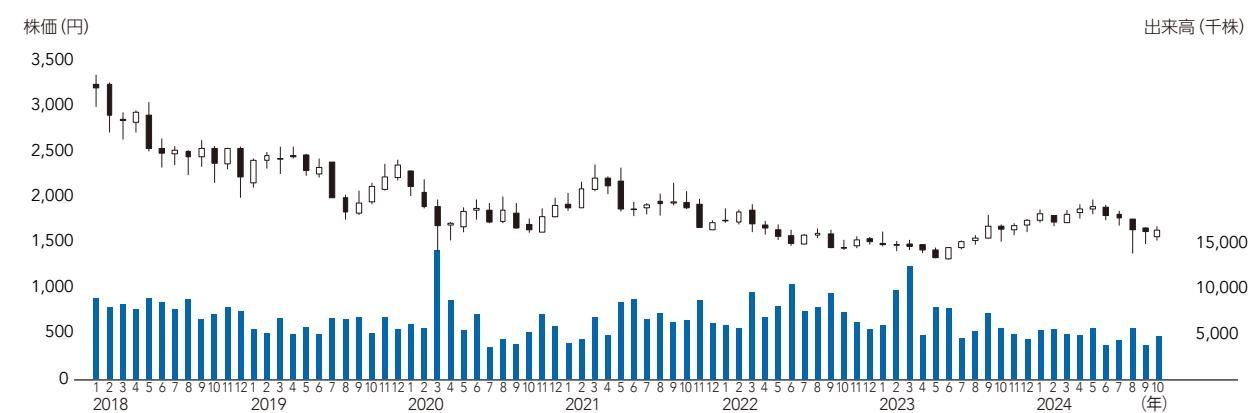
資本効率向上に向けて



ROIC・PER・PBR推移



株価推移



(注) 当社は2020年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施していますので、2019年度(2020年3月期)以前の株価および出来高については、当該株式の影響を考慮した数値としています。